

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	保土ヶ谷公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（横浜川崎治水事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 実施計画の提案に基づき、「スポーツとのふれあい、健康づくりの発信」および「みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり」等、事業計画通りの内容の取り組みを実施したため、B評価とした。</p> <p>< 2 収支状況 > 収入支出については、主に施設修繕等を積極的に行うことによって計画に対して支出が若干上回る結果となり、対収支計画比で収支差額2.6%の減となったが、概ね良好な収支状況であったため、B評価とした。</p> <p>< 3 利用状況 > 2期整備事業による公園のリニューアル効果や、イベント活動などを積極的に取り組んだ結果、今期は利用者数が前年対比でわずかに減少したものの、目標対比で34.3%増加したため、A評価とした。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > アンケート結果からも、公園の満足度は非常に高く、A評価とした。（サンプル数が少なく、アンケートを多く収集する工夫をすることを指導した。）</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 苦情・要望等に対する対応状況は良好であるため、B評価とした。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 特段の事故等は発生していないので、B評価とした。</p> <p>< 今後の方針等 > 今後も引き続きイベント等の開催による積極的なサービス向上を行うとともに、維持管理面においては、特に強風時等の倒木・落枝等がないように、特に普段目の行き届かない斜面地樹林等の樹木管理に一層努めてもらいたい。また、アンケート等の利用者の声をより多く取り入れる工夫を努力してもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツとのふれあい、健康づくりの発信 ・ 供用時間の拡大の検討、サービスの向上 ・ ニュースポーツ講座や健康作り講座などの開催 ・ プロスポーツ関係者との連携によるスポーツとふれあいの場の提供 ・ スポーツや健康の企画展示、講演会でのスポーツ文化の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 硬式野球場ネーミングライツ事業者および日本プロ野球選手会と協働で「キャッチボールクラシック大会野球教室」を開催しスポーツの普及に努めた ・ ラグビーフェスティバル、ふれあい芝生サッカーなどを開催し、スポーツ団体との協働ネットワークを強化し、スポーツの普及とふれあいの場の提供を行った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	○みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり ・植物や景観にも配慮した斜面樹林の保全 ・高木化等の進んだ樹木の健全育成と倒木など事故防止策の推進 ・斜面樹林を活用したプレイパークなどの場の創出	・樹木の適切な伐採剪定等を行い、景観や安全に配慮した樹林保全を行った。また、台風等による大きな被害もなかった。 ・斜面地樹林を利用したプレイパークを毎月実施し、公園の魅力をアピールしている。
3 (指定管理業務)	○県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり ・地域と一体となった、親しまれるイベントの開催 ・公園展示資料館を活用したパークセンター的な機能の提供 ・梅まつりやイチョウのライトアップ、森の遊び体験等のイベントを継続、発展させた地域に親しまれる公園づくり ・安心、安全、快適に利用できるレクリエーション空間の提供	・森のあそびや梅まつりなど樹林と触れ合うイベント開催を積極的に行い、地域との連携協働にも勤めている。 ・公園展示資料館では2月に桜高WEEKを開催し、その他にも弦楽コンサート、茶会など、パークセンター的機能を十分に発揮している。 ・イチョウ並木ライトアップなど、地域に親しまれる公園づくりを行っている。
4 リストから選択		
5 リストから選択		

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月28日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月27日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月24日	○	○	○	無	
1月	2月10日	2月28日	○	○	○	有	利用者アンケートを多く収集する工夫を指導
2月	3月10日	3月26日	○	○	○	無	
3月	4月10日	5月14日	○	○	○	有	年間を通して施設管理を平準化し、計画通り行うことを指導

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		170,290	56,809	42,272	269,371	269,371		0
年度計画	前年度	188,424	47,300	57,500	293,224	293,224	0	0
	上半期	105,688	30,700	35,600	171,988	171,988		0
	下半期	82,736	16,600	21,900	121,236	121,236		0
	今年度	188,232	47,800	58,000	294,032	294,032	0	0
	上半期	99,097	30,400	36,200	165,697	165,697		0
	下半期	89,135	17,400	21,800	128,335	128,335		0
通年実績	上半期合計	99,097	31,267	35,658	166,022	151,169		14,853
	対収支計画比	0.0%	2.9%	▲ 1.5%	① 0.2%	② ▲ 8.8%	③	9.0%
	10月	11,568	3,437	4,989	19,994	21,499		▲ 1,505
	11月	8,065	4,187	5,149	17,401	17,848		▲ 447
	12月	23,260	2,802	2,973	29,035	27,160		1,875
	1月	9,538	2,112	2,551	14,201	14,982		▲ 781
	2月	13,799	1,293	1,664	16,756	17,326		▲ 570
	3月	22,905	4,055	4,802	31,762	33,720		▲ 1,958
	下半期合計	89,135	17,886	22,128	129,149	132,535	0	▲ 3,386
	対収支計画比	0.0%	2.8%	1.5%	① 0.6%	② 3.3%	③	▲ 2.6%
通年合計	188,232	49,153	57,786	295,171	283,704	0	11,467	
対収支計画比	0.0%	2.8%	▲ 0.4%	① 0.4%	② ▲ 3.5%	③	3.9%	
参考	前年度 下半期実績合計	82,736	18,675	24,862	126,273	139,288		▲ 13,015
	対前年度 下半期実績比				2.3%	-4.8%		

※その他収入の内容 駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	主に計画以上の施設修繕を行った支出の増等によるもの

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 A

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

- 目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で
- A : 105%以上
 - B : 95%以上～105%未満
 - C : 85%以上～ 95%未満
 - D : 85%未満

- 入所施設等定員がある場合、定員比で
- A : 100%
 - B : 90%以上
 - C : 80%以上
 - D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	109,433 人	115,088 人	95.1 %
11月	42,268 人	41,375 人	102.2 %
12月	35,533 人	32,221 人	110.3 %
1月	25,710 人	23,798 人	108.0 %
2月	30,787 人	37,287 人	82.6 %
3月	42,138 人	50,043 人	84.2 %
合計	285,869 人	299,812 人	95.4 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	285,869 人	299,812 人	213,000 人	① 134.3 %	② 95.4 %
上半期計	411,169 人	422,254 人	353,000 人	① 116.5 %	② 97.4 %
合計	697,038 人	722,066 人	566,000 人	① 123.2 %	② 96.6 %

※目標値の設定の有無

	設定している		その他の場合の期間
期間	半期ごと	設定していない	その他の場合の期間
基準	過去数年間平均	設定していない	その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	各種イベントへの参加者の増、2期整備事業による公園のリニューアルの効果による増
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	×	×	

<参考>

施設の最大利用可能人数

	硬式野球場	サッカー場	ラグビー場	会議室A	会議室B	駐車場	合計
定員(1日あたりの延べ人数)	14,817	5,370	4,736	36	24	781	25,764
年間利用可能日数	302	320	357	357	357	365	
最大人数	4,474,734	1,718,400	1,690,752	12,852	8,568	285,065	8,190,371
半期	2,237,367	859,200	845,376	6,426	4,284	142,533	4,095,186

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	16	15	0	0	0	31	31 (100.0%)
〔参考〕 上半期結果	61	45	6	6	1	119	106 (90.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 31 件

回収 31 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
〔参考〕上半期結果	1 (0)	5 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (2)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	運動広場を臨時駐車場として利用しないでほしい。	大会等の規模にあわせてスペースを制限して利用していること、公共交通利用をアナウンスしていることを説明。
	軟式野球場からファールボールが場外の飛ぶ。	使用者に対して、場外の方への声かけの協力をお願いを継続する。
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価

B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		